

平成25年度南魚沼郡市国語部 活動報告

部長 齋木 道雄

1 研究主題

「言葉の力を育てるための指導の在り方」
—— 言語活動の充実を支える国語科の役割 ——

2 研究の概要

言語に関する能力を高めることは全教育活動を通じて行っていくものであるが、その中で国語科の果たす役割は大きい。研究主題を設定し5年となるが、授業研究、講演会や示範授業参観、実践研修などの機会を生かして、会員相互の交流と指導力の向上に努めてきた。また、小中合同の研修を工夫することにより、小中間の連携を図ってきた。

3 研究の実際

(1) 国語部会及び推進委員会の開催

郡市4地区選出の推進委員が中心となって研修計画を立案し実践する。

(2) 研修講座(南魚沼市学習指導センター)への参加

充実した研修講座に積極的に参加し、会員及び会員相互の実践研究に役立てる。

(3) 講演会の実施

平成25年8月19日(月)

講師 上越教育大学准教授 古閑 晶子 様

テーマ 思考表現を促す言語活動を核とした国語科授業づくり

～ 音読・朗読・群読に着眼して ～

概要：古閑先生からは、前半に国語科における授業構想の5つの要素について具体的なお話をいただき、後半に音読・朗読・群読を核とした文学的文章の読みの授業づくりについて、参加者を交えての実践研修を工夫していただきました。

参加者感想：こんな教材でこんな指導法がある！といった具体的な教材を用いての提案がとても新鮮でした。また、参加者が楽しくペアで音読や朗読をしたり、全員で群読をしたりなど、授業に生かせるたくさんのアイデアをいただきました。



(4) 実践研修の実施

平成25年11月28日(木)

講師 上村 唯芳 様

書き初め展への対応を含め各学年の書写指導のポイントを学ぶ。また、会員一人一人が筆を持ち添削指導を受ける。

参加者感想：私は自分の書いた文字に自信がありませんでした。はじめはおどおどしながら先生の前にもっていったのですが、「ここはね！」とやさしく声をかけてくださり、徐々に書くことと先生に見てもらうことが楽しくなってきました。きっと子どもたちも同じなんだろうと感じ、勇気をもらいました。

4 成果と課題

○本部会での研修は、教える立場から教わる立場を経験する研修内容も含まれていた。

研修が授業に還元され、子どもたちの心に届くよう、研修内容の工夫改善に努めたい。

○言語活動の充実及び学力テスト等から浮上する南魚の国語力の育成等にも焦点を当て一層の研修の充実に努めたい。